

## 前期基本計画 平成27年度 政策方針評価書

政 策： 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

担当部長職・氏名	経済産業担当部長 齊藤 和博
----------	----------------

1. 政策の平成27年度までの実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

		<p>目指すまちの姿は「雇用環境が充実し、みんなが安心して生き活きと働けるまち」です。このため、滝沢市の特性や強みを活かし、地域資源を活用して顧客ニーズに応じた価値の創造や、産学官連携や異業種連携を推進し、競争力の高い産業の育成を目指します。この結果、雇用拡大と産業振興を図り、次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します。</p>
--	--	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 自分の仕事に満足している人の割合 単位 %	53.5	54	55	56	57	58	E	
			53	-	-	-	-	△11.1	
2	幸福 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合 単位 %	39.5	40.5	42	43.5	45	46	C	
			40.4	-	-	-	-	13.8	
	単位								

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 03010000 地域資源を活用した戦略的な産業振興 チャグチャグ馬コの入込客数 単位 千人	28	28.5	29	29.5	30	30	E	
			22	-	-	-	-	△300.0	
2	幸福 03010000 地域資源を活用した戦略的な産業振興 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	D	
			72.3	-	-	-	-	△54.3	
3	暮らし 03020000 企業集積と産学官連携の推進 IPUイノベーションセンター・パークへの立地件数 単位 %	18	20	21	23	25	26	A	
			20	-	-	-	-	25.0	
4	幸福 03020000 企業集積と産学官連携の推進 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	39.5	40.5	42.5	43.5	45	46	A	
			40.4	-	-	-	-	13.8	
5	暮らし 03030000 農林業の振興 農業後継者（販売農家）の有無の割合 単位 %	55.2	55.7	55.7	55.7	55.7	55.7	F	
			55.2	-	-	-	-	0.0	
6	幸福 03030000 農林業の振興 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	39.5	40.5	42	43.5	45	46	A	
			40.4	-	-	-	-	13.8	

## 前期基本計画 平成27年度 政策方針評価書

政 策：03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

担当部長職・氏名	経済産業担当部長 齊藤 和博
----------	----------------

### 2. 政策の実現に向けての平成27年度までの取り組み状況を分析する

#### (1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用した戦略的な産業振興については、産業創造センターの運営は指定管理によるものとし管理者が決定したことから、管理者と協議を重ねて観光情報発信、産直や滝沢ブランドなど物産振興に今後も引き続き取り組んで参ります。</li> <li>・企業集積と産学官連携の推進については、盛岡西リサーチパークに2社、IPUイノベーションセンターには4社を誘致し、異業種交流による人材育成のためセミナーを開催しました。</li> <li>・農林業の推進については、農地中間管理事業を活用した農地集積を農業委員会と連携し推進しました。日本型直接支払いの推進は7つの保全組織が組織されました。相の沢牧野の管理運営は冬季預託を引き続き実施しました。</li> </ul>	

#### (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成27年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業創造センターの整備・企業誘致の促進、・共同研究の推進、・次期企業誘致構想の検討・農地中間管理事業を活用した農地集積の推進、・日本型直接支払いの推進、・相の沢牧野の管理運営による畜産振興、・松くい虫対策の推進</li> </ul> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業創造センターの整備については、指定管理者が決定したことから運営等について協議を進めています。</li> <li>・企業誘致については、盛岡西リサーチパークに2社、IPUイノベーションセンターには4社を誘致しました。共同研究は3件実施しました。</li> <li>・農地集積については、集積率40%台で推移しています。日本型支払については、7つの保全組合が組織されました。相の沢牧野については、冬季の預託を引き続き実施しました。松くい虫対策については、41本、幹材積72m<sup>3</sup>を実施しました。</li> </ul>	

### 3. 政策の実現に向けて平成27年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

A	取組みの継続
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県中小企業振興条例の制定</li> <li>・国による滝沢市商工会経営発達支援計画の認定</li> </ul> <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝沢市森林整備計画の策定</li> <li>・滝沢市酪農・肉用牛生産近代化計画書の策定</li> </ul> <p>【環境変化と対応の認識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業条例が県で策定されたことから、市での取り組みについて調査研究する必要があると考えます。</li> <li>・滝沢市商工会で経営発達支援計画が認定されたことから、商工会と連携して市内小規模事業者へ訪問するなど、課題の洗い出し、解決方法について連携して協議する必要があると考えます。</li> </ul>	

### 4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

#### (1) 平成29年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します」の実現のため、計画している各種事業を確実に推進する必要があると考えます。</li> </ul> <p>【引き継ぎ事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まち・ひと・しごと創生事業「馬資源を活用した農産物のブランド化・地域共創事業」の着実な推進を図ること。</li> </ul>	

